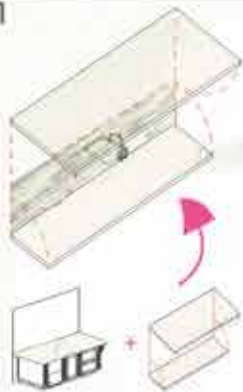


隅におけない台所



▼台所に関する2つの構成

1



壁の隅に寄せられた台所に、可動庇と机を付与します。屋外と屋内を結ぶ台所は多様な使い方を可能にし、周辺と新しい関係結びます。

2



同家の台所を含む土間は高い吹き抜けを持ち、様々な室に接していますが借しいことに台所との親密さはありません。



この土間に他の室を貫入させます。台所での活動が家全体に染み出して生活のリズムを作っていきます。

家の隅にはあるけれど、生活やまちのなかで中心にあるような台所を考えました。この台所は可動の机と庇を持っていて屋内と屋外の境界にあります。可動の建具を開くことで、作業スペースを広げたり、食事ができたり、生活が外部に溢れていきます。滲み出る台所の気配に気づいた町の人々がふらりと立ち止まることもあるでしょう。また、家の隅々まで台所からの気配が伝わるようになっており、台所での活動が生活のリズムを作っていきます。家に住むひと、まちも、この台所を隅においておくことはできません。



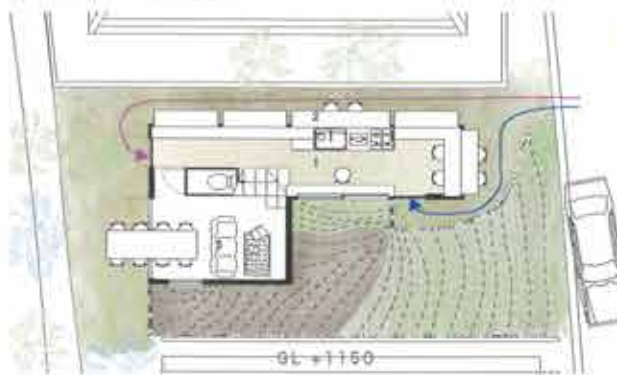
▼屋根伝いに人が集まる台所



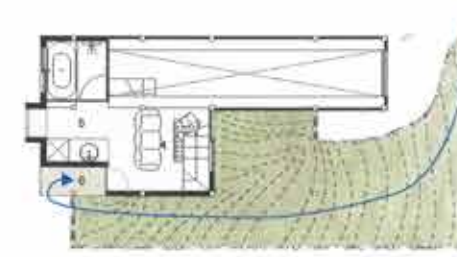
▶敷地 神奈川県横浜市上大岡

街は市街地を襲に持ち、斜面地から丘にかけて住宅地が広がっています。そのため、斜面地に住む人たちは公共サービスや買い物などを市街地でしか行えません。このことは斜面地に住む高齢者などの人々にとって大きな問題になっています。地域に開かれるような台所が、丘や斜面地に住む人々が大きく登り降りすること無く、容易に集まること可能な拠点になり得ると考えました。

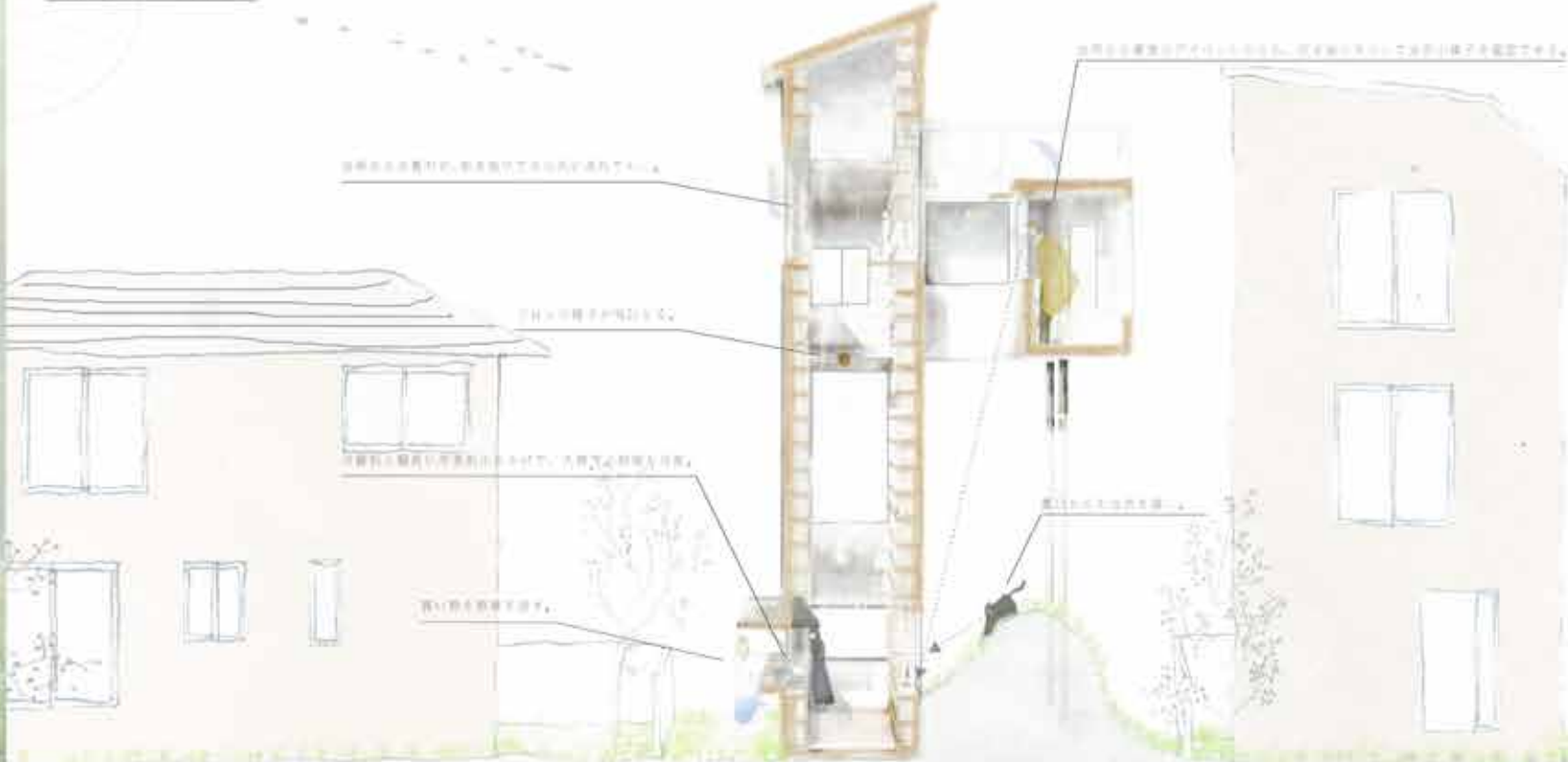
▼平面図 1:200



● 台所はどのような経路からでも、目に触れたり、通過する場所になっている。



▼断面図 1:100



▼台所の日



朝、子供送り出したあと、料理教室をしたり友人と食事をするなどして過ごす。



夕方、街から昇ってくる夕景の香りに気付いて台所を覗き込む。